



教育センター・育成センター所報

GALILEI



ナンテンの実

新しい教育 柏崎からの発信

平成 21 年 9 月号

柏崎市立教育センター

柏崎市青少年育成センター

インターネット版は
柏崎市教育情報支援シス
テムを検索し、トップ画面の
右上「GALILEI」をクリック
してください。

9月号 CONTENTS



○ 今月の巻頭言 「柏崎市学区等審議会の概況報告について」 柏崎市学区等審議会会長 遠藤 元男 ……………	1
○ 教育センターだより ……………	2
アクセス (教育研究班) ……………	2
研修講座スナップショット、教育情報支援システム情報・研修講座情報	
プロジェクト K (教育研究班・科学技術教育) ……………	8
研修会・事業の一コマより、行事予定	
心の窓 (教育相談班) ……………	11
児童理解の取組、就学相談、宿泊体験	
○ 青少年育成センター通信 ……………	13
3か月間の育成活動結果、秋空の下でのトライウォーク	
○ 所員随想つれづれ 「奇貨可居」 田村 実 ……………	15
「最近のあれこれ」 赤澤 美保	
○ 教育センター10月の予定 ……………	17
○ 教育センター8月の利用状況 ……………	18



◆先日、南中学校区地域教育懇談会が行われた。テーマは「学校・家庭・地域の活力を生かして子どもたちに生きる力を育てよう」であった。

私は「伝統文化、ボランティア活動などの体験をとおして、子どもたちに豊かな感性を育てるために学校・家庭・地域はどのような取組が必要か」を話し合う分科会に参加させていただいた。

ご存じのように南中学校区には、綾子舞など、柏崎市を代表する無形・有形の文化財が数多くある。この分科会は、当然のように南中学校などで取り組んでいる「綾子舞などの伝承活動」に話題が集中した。各地区で行われる「奉納舞」などにも、小学校低学年のころからすでに演者として参加しているという話も聞き、素晴らしいと思い



つつ、時代の流れを感じた。

この校区にも少子化の波は、着実に押し寄せてきている。過疎化に伴い、地域をあげて保存伝承活動に取り組んでいる姿が伝わり、それが子どもたちの「豊かな感性」を育てる大切な教育をしているのだと改めて感じた。

以前、私が勤務していた小学校の校庭に、約500年前に戦いに敗れ自刃した越後国守護・上杉房能の「管領塚」があった。その土地の長老から、上杉房能の奥方である綾子の方が、その後鶴川(女谷)に落ちのび、形見の舞として今に伝わっているのが「綾子舞」であると聞いていた。歴史の深さや重みを感じると共に、否応なく「綾子舞」への思いを巡らせてしまった。一人でも多く地域を愛し、好きになる子どもが育つことを願っている。(nh)

柏崎市学区等審議会の概況報告について

～「児童・生徒にとって望ましい教育環境の構築と保障」が視点～

柏崎市学区等審議会会長
遠藤元男（新潟産大教職課程）



教育基本法の改正、教員免許更新制等教育3法の改正、学習指導要領の移行措置等々、激動する教育界の動向の中で、公教育の推進にご尽力くださっておられる学校現場・教育行政関係の皆さんに深く敬意を表します。

さて、今号では、平成20年5月にスタートした本市学区等審議会の進捗状況等について学校現場の教職員の皆さんからもご理解いただきたく、審議会の進捗状況等についてお知らせします。詳細は市の広報やホームページでも紹介されています。

審議会とは、地方自治法第138条の4第3項及び第202条の3の規定により、教育委員会の附属機関として設置されたものです。本市でもこの法律に基づき「柏崎市立学校の通学区域の再編成及び学校の再配置についての教育委員会の諮問に対して調査審議し、教育委員会に意見を具申する」ことを任務としています。従って、本市の今までの学校再配置等はすべてこの審議会の意見具申に基づき、教育委員会が決定する行政手順を踏んできたものです。

本市では、全国共通の児童生徒数の減少という社会的動向の中で、学校の再編統合は避けて通れない行政課題・地域課題で平成20年5月新たに審議会が設置され、18人で構成された委員会で21年9月末までに15回の審議を鋭意進めているところです。

具体的には、20年度は、学校統合についての国や県の基準の確認と本市独自の基準の策定、「望ましい教育環境とは？＝小規模校のメリット・デメリット」の共通理解、本市の基準に基づく統合再編対象校のリストアップ、複式授業の参観等を行いました。

21年度は対象校となった9地区へ教育委員会、教育委員、審議会委員が出かけ保護者や地域の皆さんと意見交換をさせていただきました。これらの作業を踏まえて、審議会では答申案審議 パブリックコメント（21年11月・12月） 対象校区への説明（21年12月・22年1月） 最終答申案審議作成（22年1月・2月） 教育委員会へ答申・教育委員会審議（22年3月） 対象小学校区、市長、市議会へ報告（22年3月） 広報かしわざき、ホームページ、報道機関等による周知 新配置計画実施（24年）という事務日程になっています。

ただ、これはあくまでも予定であり、統合対象学区の理解・協力が前提となるので、日程の変更は十分予想されます。

それでは、どんな基準や方針で学校再編を審議しているかについて説明します。小学校の場合、国や県の学級数の基準は12学級以上18学級以下となっていますが、本市では地域の実情に配慮し、国や県の基準に近付けることを想定しながらも「単式で20人」を目安としています。中学校区は該当校なし

また、具体的には 複式学級解消 児童・生徒にとって望ましい教育環境（教育効果上適正な学校規模と学級規模が必要） 統合の範囲は、原則として当該小学校区の中学校区及びコミュニティ単位 統合により遠距離通学（小学校児童3km以上）を余儀なくされかつ利用する交通機関がない地区、または本数の少ない地区は、スクールバスを運行するなどです。

地区意見交換会では、参会者に「複式学級の基準は？そのメリット・デメリットは？」に、まず共通理解を求めることに最もエネルギーを要しました。また、「我が母校」「おれたちの地域の学校」への思いがひしひしと感じられ心が痛む思いでした。それに、複式の授業参観では指導に当たられた先生方のまさに「職人的な指導の技」を拝見し、胸を熱くさせられました。

おわりに、現場で学校経営に日夜腐心されておられる校長先生はじめ教職員各位の益々のご活躍を期待し、概況報告とさせていただきます。

No.94	平成 21 年 9 月 28 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610
-------	--------------------	------------	--



研修講座スナップショット!



8月上旬から9月上旬に行われた研修講座の様子をお知らせします。

8月6日(木) 市内文化財巡検

柏崎刈羽郷土史研究会 平原 順二 様

見学場所

- 1 北条毛利館跡
- 2 専称寺(北条)
- 3 黒姫神社(岡野町)
- 4 貞観園(岡野町)
- 5 かやぶき環状集落(荻ノ島)
- 6 高志の生紙工房(門出)
- 7 周広院(与板)
- 8 浄広寺・善根毛利館跡(飛岡)



受講者の感想から

教科書や資料集にのっていないなくても、素晴らしい文化財や文化、そしてそれを守ったり、発展させようとする人が、すぐ近くにいることを強く感じた。「有名なものがない」ということは、自分の思い込みと自分が探そうとしない消極的な姿勢が生み出すものだった。身近な寺社仏閣にも歴史があり、そこにかかわる人物一人ひとりにも、エピソード、歴史がある。社会科教員として、地域の資源・素材をいかしていくために、基礎的な部分を学べたと思う。そして「こういうものがある」だけでなく、その道の先達から話を聞くことの大切さ、良さを改めて感じました。

8月10日(月) マーチングバンド講座

日本マーチングバンドトリング協会 根津 和則 様

ドラムや金管楽器の基本、教え方などわかりやすく説明してもらいました。デイリートレーニング、マーチングCD、選曲の資料などお土産がたくさんあり、得をした気分です。ありがとうございました。

指導のポイントや練習方法などを、詳しく教えていただきとても参考になりました。自分自身が金管、マーチングをするのが初めてなのですが、指導のヒントになるところをたくさんいただきました。子どもたちが練習の中で自信を持って上達できるよう、指導する側の私たちが研修を更に深めていきたいと思いました。



8月18日(火) WISC一Ⅲ入門講座

県立柏崎養護学校 水野 興司 様



卒業をひかえ、夏休みにWISC - を実施しなければならず、とても不安でした。でも、今日の研修でやり方をていねいに教えていただき、私もできそうだという思いを持つことができました。スタッフの方々に細かく教えていただいたので、リアルタイムに疑問が解決しました。お忙しい中ありがとうございました。

入門講座にふさわしい研修内容と体制でした。 分かりやすい説明、その後演習 演習時に、疑問な点をすぐに質問できる体制。演習時のつぶやき(疑問)に親切にたいないに対応いただきました。1日研修でしたが、分かりやすく楽しい学びの時間となりました。ありがとうございました。

8月21日(金) 川での投網体験

金子 錦弥 様、小池 一弘 様、桜井 雅浩 様

悪天候や災害のために3年連続中止をした「川での投網体験」講座。天候に恵まれ4年ぶりに開催することができました。

小学校を中心に総合的な学習の時間等で、自然や生き物また環境(水)についての学習の一環として川での体験学習を取り入れている学校もあるようです。今回は、先生方自身に体験してもらい、授業等に役立ててもらおうのがねらいでした。童心に返り、水眼鏡とヤスを手にびしょぬれになりながらも夢中で魚を追いかけていました。

事前の下見、当日のご指導とたいへんお世話になった金子さん、小池さん、桜井さん3名の講師の皆さんに、心から感謝申し上げます。



8月24日(月) WISC一Ⅲ事例検討講座

上越教育大学教授 大庭 重治 様

県立柏崎養護学校 上松 武 様

入門編に続き、大変勉強になりました。受講後、児童にWISC - を実施しました。今日教えていただいたことを採点の際に生かし、今後の指導の方向性を見出していきたいと思います。大変分かりやすく演習を交えて教えていただいたので良かったです。ありがとうございました。

午前中は知能検査の位置付けやWISC - についての基本的な考え方について知ることができて良かったです。また、新しいWISC - についても情報を得ることができました。午後は基本的な事項を確認しつつ、事例に基づいて作業を入れながら分析できたので分かりやすかったです。偏差値や有意差など数値の比較はできたと思うが、分析したことを文章化することが難しかったです。もっと研修を積んで指導に生かせるようにしていきたい。



8月24日(月) 中学校技術教材研究

上越市教育委員会 藤田 賢一郎 様

新学習指導要領移行に伴い、まずは自分自身の指導力を身に付けていかなければならないと感じました。正直、まだ大丈夫だという甘い考えがあったのが、今日の講義を聞いて危機感を感じました。

盛りだくさんの内容を限られた時間の中で伝えようとする講師先生の熱意が伝わる講座でした。免外で内容的には困惑する所も多いのですが、これからの方向性を見据え、年間計画の改訂等の作業にあたらなければならないと思いました。



9月2日(水) 生活科教材研究

柏崎市立教育センター 栗田 明廣

身近な材料でこんなに楽しい物ができて子どもが喜びます。ありがとうございました。おもちゃづくりのコツは、比べる、くり返す、試す、と最後に聞きました。試行錯誤で子どもたちの科学の力が伸びてくるのだなあと思いました。

うちの学校では、今、「科学的思考を育む生活科」のおもちゃづくりの単元がうまく年間指導計画の中に入っておらず、それが課題となっています。今回教えていただいたことをうまく、年間の活動計画の中に取り入れていけたらと思いました。とても楽しい研修をありがとうございました。



9月11日(金) 保護者対応・相談

柏崎市立教育センター 小林 東

保護者対応で大切なことは、相手の訴えをしっかりと聞き出して受け止めること、そして何よりも初期対応を適切に行うことだと感じた。そのためには、保護者と学校との信頼関係をつくれるよう、普段から子どもたちのよいところを積極的に発信し、困った時だけでなく、楽しい時にも学校に足を運べるようにしていきたいと感じた。ありがとうございました。

事例検討会の資料で自分のクラスを見るようで大変参考になりました。当校のチーム体制のよさを改めて感じているところです。保護者への対応では、自分自身で失敗していることもあり、反省をこめて勉強になりました。今日学んだことを今後に生かしていきたいと思います。



講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名	教材名(リンク)	サムネイル/備考
H21.8.20	Word活用2	Word活用2.pdf	テキスト第5版(H21.08.20)
		Word活用2演習用例題.doc	演習用例題文書
H21.8.20	Word活用3	Word活用3.pdf	テキスト第5版(H21.08.20)
		差込文書例.doc	演習用例題文書、差込データ
		受講者名簿.xls	
		受講者名簿抽出用.xls	
H21.8.21	Excel活用2	住所録.xls	
		Excel活用2.pdf	テキスト第6版(H21.08.21)
		Excel活用2例題.xls Excel串刺し計算例題.xls Excel配列数式例題.xls	演習用例題Excelブック
H21.8.21	Excel活用3	Excel活用3.pdf	テキスト第6版(H21.08.21)
		Excel活用3例題.xls アンケート集計枠.xls アンケートの集計結果.doc	演習用例題Excelブックと表・グラフ貼り付け用文書
		Excelマクロ入門1.pdf	テキスト第1版(H21.08.25)
H21.8.25	Excelマクロ入門1	Excelマクロ入門例題.xls	演習用例題Excelブック
		Excelマクロ入門2.pdf	テキスト第1版(H21.08.25)
H21.8.25	Excelマクロ入門2	Excelマクロ入門例題2.xls	演習用例題Excelブック
		ネットワーク提供型コンテンツの活用.pdf	テキスト第6版(H21.09.15)
H21.9.15	ネットワーク提供型コンテンツの活用	ネットワークコンテンツ	教科別おすすめサイトへのリンク集
		ネットワークコンテンツおすすめリンク集.htm	

その他の登録情報

8/18 実施の「情報モラル指導のポイント3(家庭への啓発活動)」のテキストとともに、今年度実施した携帯電話・インターネットに関する全市共通のアンケートの集計データが登録されています。

全市の状況だけでなく、条件を指定することで特定の学校の状況や、男女による違い、項目ごとの関連性などが分析できるようになっていますので、ぜひ啓発活動等の資料作りに活用してください。

ここに学校番号などの値を指定すると、その条件に合致するデータのみの報告が「報告」シートに表示されます。複数の条件を指定した場合は「AND(かつ)」条件となります。

(注1)一部の学校からの提出データが集計値のみであったため、その分のデータが含まれていません。「学校別まとめ」シートはそれらのデータも含めた集計値で処理しております。

(注2)Excel2000-2003の互換形式で登録しておりますが、Excel2007で開いていただくと「学校別まとめ」シートのセル内に所有率・利用率の簡易グラフが表示されます。

また、文部科学省からも平成21年5月15日付で「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」の結果が公開されています。全市の集計データとともに活用していただくことで、より訴求力の高い啓発資料が作成できると思います。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/05/1266484.htm

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

文字サイズの変更 小 中 大

検索 詳細検索

お知らせ 政策について 白書・統計・出版物 申請・手続き 文部科学省について 教育 科学技術・学術 スポーツ 文化

トップ > お知らせ > 報道発表 > 平成21年度の報道発表 > 「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」の結果について

「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」の結果について

平成21年5月15日

文部科学省では、このたび「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」を委託して実施し、その結果が取りまとめられましたので、公表いたします。(なお、速報は2月25日に公表済)

1. 調査内容

(1) 趣旨

子どもたちの携帯電話の利用実態や意識等を把握し、今後の取組推進のための基礎資料を得る。

(2) 調査対象

- ・ 全国の小学6年生、中学2年生、高校2年生
- ・ 当該児童生徒の保護者
- ・ 全国の小・中・高等学校

情報関連研修講座情報

10月に実施される情報関連講座のご案内

◆H21.10.20(火) 大型プリンタによる長尺印刷入門

長尺印刷用の大型インクジェットプリンタ(EPSON MAXART)が高柳地区向けに高柳中学校、西山地区向けに西山中学校、柏崎地区向けに教育センターに整備されています。実際に整備されている機種と同じものを使用して、横断幕・看板の印刷やワープロ文書の拡大印刷の手順を学習します。



MAXART 活用のヒント ~ 大きく分けて以下のような3つの使い方ができます ~

1. 横断幕、立て看板の作成

専用のソフトウェア(有償のものであるため、導入場所ではしか利用できません)を使用しての作成となりますが、61cm幅で最大15mまで作成できます。イラストや写真の挿入もできますが、ソフトウェアに付属のイラストはほとんどありませんので、使用したいイラストや写真はUSBメモリなどに入れてお持ちください。

2. 文書の拡大出力

Wordなどで作成した文書を最大 A1 ノビサイズまで拡大出力することができます(出力時の設定で A1 サイズを 4 枚貼り合わせるようなポスター印刷も可能です)。Office 系のファイルはそのまま出力できますが、作成時に特殊なフォントを使用すると正しく出力されない場合がありますので、念のためフォントを埋め込んだ PDF ファイルもお持ちください。また、一太郎はインストールされていないので、同様に PDF ファイルとしてお持ちください。

3. 原稿の拡大コピー

電子データではなく、印刷された原稿やプリントした写真を最大 A1 ノビサイズで拡大出力することができます。原稿をスキャナで読み取って、拡大出力する専用のソフトウェアを使用します。

◆H21.10.21(水) 基礎から学ぶ ICT 活用③(スクーリングその2)

メールによる情報交換や訪問支援を織り交ぜながら、年間を通してパソコンやネットワークの基本的な活用方法について学習するコースの3回目です。

■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

📄 セキュリティホール情報

マイクロソフトより、9月9日付で9月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いいたします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能を ON にする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	更新先	深刻度
1	MS09-045 Windows の重要な更新	JScript スクリプト エンジンの脆弱性により、リモートでコードが実行される (971961)	Windows 2000,XP, 2003 Server,Vista 2008 Server		
2	MS09-046 Windows の重要な更新	DHTML 編集コンポーネントの Active X コントロールの脆弱性により、リモートでコードが実行される (956844)	Windows 2000,XP, 2003 Server		
3	MS09-047 Windows の重要な更新	Windows Media Format の脆弱性により、リモートでコードが実行される (973812)	Windows 2000,XP, 2003 Server,Vista 2008 Server		
4	MS09-048 Windows の重要な更新	TCP/IP の脆弱性により、リモートでコードが実行される (967723)	Windows 2000, 2003 Server,Vista, 2008 Server		
5	MS09-049 Windows の重要な更新	ワイヤレス LAN 自動構成サービスの脆弱性により、リモートでコードが実行される (970710)	Vista, 2008 Server		

 は Windows Update または Microsoft Update,  は Office Update から更新を実行します。

なお、Office が 2002(XP)以降なら Microsoft Update を利用すると、まとめて実行することができます。

注意 **警告** **重要** **緊急** は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。

プロジェクトK

(柏崎刈羽地区科学技術教育センターだより)

Tel. 0257-20-0212

研修会・事業の一コマより(参加者の声など)

小学校学年別研修会 第6学年「電流のはたらき」

(8月21日実施)

内 容 22年度からの移行内容を含む、電流の利用に関する研修会でした。今年度移行用教科書補助資料に載っている実験を成功させるためにも、かなり限定された実験条件の整備が求められます。教材作りと展開のポイントについて研修し、授業に備えました。また、来年度より移行の電気2重層コンデンサを使用した蓄電の学習についても先行して研修を行いました。



小学校教員理科指導力向上研修も並行して行いました。

小学校学年別研修会 第6学年「水よう液の性質」

(8月21日実施)

内 容 ムラサキキャベツの簡単色素抽出実習、ハーブティーや食用色素などを使った簡単指示薬作り、薬品の調製実習などを行いました。また二酸化炭素が水に溶けることを確実に実感できる実験等を含む、教材や指導法についての研修でした。



小学校教員理科指導力向上研修も並行して行いました。

標本作製相談会(名前調べ会)

(8月22日実施)

会 場 ソフィアセンター

内 容 標本(植物、昆虫、貝、海そうなど)のまとめ方や名前が分からないときの相談会を行いました。数時間にわたって熱心に調べる親子連れの姿も見られました。今年度は特に貝部門に相談が集中しました。



小学校学年別研修会 第3学年「光であそぼう」

(9月8日実施)

内 容 鏡を使った光の的当て実験を上手く進めるための工夫や、虫めがねが光を集める様子を見る実験方法の伝達、また簡単ソーラークッカーの製作などを行いました。実験を通して、変化に関わる光の性質についての見方・考え方を持たせる授業作りについての研修でした。



第44回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

(9月12日~23日実施)

会 場 柏崎市立博物館

表彰式 24日(木)16:00~ 《特別賞・金賞受賞者》

小学校学年別研修会 第5学年「もののとけかた」

(9月15日実施)

内 容 再結晶の様子をダイナミックに観察できる実験や、観察の視点を焦点化する実験、「溶ける」様子(シュリーレン現象)の観察に適した実験方法などを紹介しました。重さを手掛かりに「溶ける」現象を考えさせる単元の構成にもふれながら、予備実験を兼ねた実習を行いました。



他...要請による研修会各種

第44回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展 入賞者一覧

賞	部門	学校名	学年	氏名	題目
柏崎市長賞・金賞	植物標本	日吉小学校	3	真貝 葵	平成21年春夏の日吉小学校の周りの植物
金賞	植物標本	野田小学校	4	田邊 里奈	野田小学校のまわりの植物
柏崎市立教育センター賞・金賞	植物標本(海そう)	大洲小学校	5	佐藤 佑星	番神・鯨波の夏海藻標本
金賞	植物標本	田尻小学校	6	種岡 遥	田尻地区の春の植物
柏崎市立博物館賞・金賞	植物標本	北条南小学校	6	村山 萌花	金倉山の植物
柏崎市教育長賞・金賞	昆虫標本	柏崎小学校	4	佐藤 駿介	チョウの標本(八石山)
金賞	貝標本	枇杷島小学校	3	片桐 妙	かしわざきの海で見つけた貝
刈羽村教育長賞・金賞	貝標本	日吉小学校	5	川村 翔太	柏崎の生きた貝と打ち上げ貝
金賞	顕微鏡スッチ,生態写真	枇杷島小学校	3	大橋 寛人	ミンミンゼミ、アブラゼミ、アオイトトンボの羽化
金賞	顕微鏡スッチ,生態写真	比角小学校	4	堀 竜也	野菜のスケッチ
柏崎青年工業クラブ賞・金賞	顕微鏡スッチ,生態写真	新道小学校	4	村山 圭吾	こん虫の体のふしぎ~ビデオルーペを使って~
金賞	顕微鏡スッチ,生態写真	大洲小学校	5	牧岡 正太郎	セミの観察日記
新潟工科大学賞・金賞	発明工夫	二田小学校	6	白川 樹里	太陽電池を使ったアラーム付き日時計を作る
柏崎商工会議所会頭賞・金賞	その他標本	比角小学校	4	片山 萌花	葉みやく標本
銀賞	植物標本	北条南小学校	3	五十嵐 寿	南条,八石の植物ひょう本
銀賞	植物標本	剣野小学校	3	中村 愛理	しょく物ひょう本
銀賞	植物標本	刈羽小学校	5	塚田 陽奈	植物標本
銀賞	植物標本	西山中学校	1	三宮 悠希奈	西山町の植物
銀賞	昆虫標本	大洲小学校	3	中村 雄大	昆虫標本
銀賞	昆虫標本	北条南小学校	5	山本 智明	ぼくが会ったオニヤンマの仲間
銀賞	昆虫標本	内郷小学校	6	伊比 駿斗	西山町のセミ・トンボのぬけがら
銀賞	昆虫標本	田尻小学校	6	村山 拓実	カブトムシ・クワガタムシ 大好き
銀賞	貝標本	比角小学校	4	武江 美鈴	柏崎の海の貝類標本
銀賞	貝標本	大洲小学校	5	佐久間 歩美	うちあげ貝の標本
銀賞	貝標本	半田小学校	6	藤原 裕史	貝の生態による海岸海底の推測
銀賞	顕微鏡スッチ,生態写真	枇杷島小学校	3	高橋 柚夏	さし木のかんさつ
銀賞	顕微鏡スッチ,生態写真	大洲小学校	4	岩田 胡桃	ほこりを調べる
銀賞	顕微鏡スッチ,生態写真	半田小学校	5	石塚 匠	植物の茎と断面とプランクトン
銀賞	顕微鏡スッチ,生態写真	内郷小学校	5	山崎 飛鳥	青虫の観察
銀賞	顕微鏡スッチ,生態写真	大洲小学校	6	町屋 詰平	ボウフラの観察
銀賞	顕微鏡スッチ,生態写真	新道小学校	6	宮竹 一成	稲の顕微鏡スケッチ
銀賞	発明工夫	比角小学校	3	藤田 英人	ビー玉ジェットコースター
銀賞	発明工夫	剣野小学校	5	小林 成海	電池が全くいらぬエコ・ラジオを作る!!
銀賞	発明工夫	榎原小学校	6	内山 拓也	光通信装置
銀賞	発明工夫	榎原小学校	6	與口 和馬	脱出エレキゲーム

銀賞	発明工夫	第二中学校	2	片桐 直人	雨センサー
銀賞	その他標本	大洲小学校	3	長谷川 樹	塩の研究
優良賞	植物標本	枇杷島小学校	1	吉村 文花	いろいろなくさばな
優良賞	植物標本	比角小学校	2	佐藤 海友	うちのにわのしょくぶつ
優良賞	植物標本	大洲小学校	2	平澤 麗奈	柏崎市水源地(川内)の植物
優良賞	昆虫標本	北鯖石小学校	1	小野塚 渉	むしのひょうほん
優良賞	昆虫標本	比角小学校	2	山崎 智晴	木にあつまる夏の甲虫たち
優良賞	貝標本	半田小学校	2	犬井 慧美花	柏崎の海がんの貝
優良賞	貝標本	日吉小学校	2	川村 和輝	かしわざきの貝
優良賞	貝標本	比角小学校	2	武江 真哉	貝のひょう本
優良賞	顕微鏡スッチ,生態写真	半田小学校	1	小川 壱斗	あさがおのかんさつ
優良賞	顕微鏡スッチ,生態写真	比角小学校	2	金子 淳哉	海の生きもの(かしわざき、ささ川ながれ)
優良賞	顕微鏡スッチ,生態写真	剣野小学校	2	小林 悠	らっかせいのそだてかた
優良賞	顕微鏡スッチ,生態写真	枇杷島小学校	2	佐藤 弥咲	きゅうりのかんさつ日記
優良賞	顕微鏡スッチ,生態写真	枇杷島小学校	2	保科 真生	やさいのお花しらべ
優良賞	顕微鏡スッチ,生態写真	荒浜小学校	2	山岸 勇太	カブトムシのかんさつ
優良賞	顕微鏡スッチ,生態写真	半田小学校	2	山之内 朝香	花 見つけたよ
優良賞	顕微鏡スッチ,生態写真	大洲小学校	2	米谷 佳也	薬になる草花
優良賞	その他標本	比角小学校	2	青山 音哉	野菜の形やたねのかんさつ
優良賞	その他標本	大洲小学校	2	藤田 里穂	やさい・くだものたね

9月末～10月中旬頃の行事予定(研修会など)

小学校学年別研修会 第4学年「水の3つのすがた」

日 時 9月30日(水) 15:00～

内 容 沸騰しているのに100じゃない, 0を下回っているのに凍っていない等, 失敗しがちな実験を上手く行うコツをお伝えします。また冷たい容器の周りについた水滴は, 中からしみ出してきたんじゃないの? 沸騰してでてきた泡は空気じゃないの? などの誤った概念に効果的な実験方法を含む研修会です。

第44回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

日 時 10月1日(木) 13:00～

会 場 教育センター 2階全室

初任者研修会「理科の授業をどう組み立てるか」

期 日 10月13日(火)

内 容 科学的な見方や考え方を育成する授業についての実習を伴う研修会です。

上越地区セン研究協議会 野外研修会

期 日 10月19日(月)

小学校学年別研修会 第4学年「もののかさと温度」

日 時 10月22日(水) 15:00～

内 容 ふくらむことを視覚的にとらえることができる教材を紹介し, つまづきやすいところの指導法について, 具体的に実験をしながら研修します。空気の上昇説の子ども意識を膨張説に変えるために有効な教材作りも行います。

他...要請による研修会各種

心の窓 (教育相談班だより)

121

柏崎市立教育センター 〒945 0833 柏崎市若葉町2番31号

(代表) 23-4591

(Fax) 23-4610

<我が校の教育相談>

児童理解の取組

柏崎市立北条南小学校

本校の校区には長鳥川や八石山があり豊かな自然に恵まれており、それらを活用しながら教育目標「めあてをもってやりぬく子」の達成を目指し教育活動を進めています。全校児童数102名、特別支援学級を含めて7学級の小規模校です。

今年度は、平成22年度に正式統合することが決まっている北条北小学校と合同学習(南小学校校舎で両校が生活し、ほとんどの授業や学校行事を合同で行う)を進めています。そして、両校の児童が安心して楽しい学校生活が送れるよう、また、豊かな人間関係がはぐくめるような取組を行っています。

2種類の学校生活アンケートによる児童の教育相談

毎週金曜日に簡単なアンケート(かがやきアンケート)を全校で実施しています。第3者なら言える場合もあると考え、アンケートは校長に提出します。校長がチェックした後、生活指導主任がチェックし、気になる児童がいた場合は、担任に知らせ、本人にさりげなく話を聞くというシステムをとっています。問題が深刻な場合は、全職員に連絡し、情報と対応の共有を図っています。

年3回(6月、11月、2月)の学校生活アンケートの実施です。かがやきアンケートとは異なり、学習面・生活面・休み時間のことなど多岐にわたります。児童が感じていること、困っていることなどをそれにより把握します。学級全体の傾向を把握し学級経営に役立てたり、学校全体の問題になることは学校全体で対策を立てたりするなどアンケート結果を生かして教育活動を進めます。

「なんでも相談週間」の実施

学校生活アンケートをもとに、時間を設定し、一人一人と面談を行います。児童とゆっくり話せることから、児童の本音が聞き出せるよい機会になっています。

「子どもを語る会」の実施

月1回「子どもを語る会」を行い、情報交換を行っています。各学級の様子や気がかりな児童について情報を交換し、共有することで全職員で共通した対応ができるようにしています。

(文責 山崎 綾子)

<教育相談班 10月の予定>

* カウンセリングルーム

いろいろ体験グループ

(小学生A) 9日(金) 16:00~17:00
 (小学生C) 9日(金) 16:30~17:30
 (小学生B) 16日(金) 16:30~17:30
 (中学生) 23日(金) 18:30~20:00
 (中学生) 30日(金) 18:30~20:00

* ふれあいルーム

6日(火) 三者面談
 7日(水) "
 8日(木) 通級終了日
 19日(月) 通級開始日
 27日(火) 陶芸教室

柏崎市の就学相談

皆さんは、柏崎市の就学相談について、ご存知でしょうか。

柏崎市教育委員会では、就学指導委員会を設置し、就学を控えたお子さんについて心配や不安を持つ保護者の依頼を受け、その障害の種類や程度に応じた望ましい教育環境、就学先等について、専門的な見地から総合的に判断しています。委員会は、35名の委員で構成され、うち22名の特別支援教育、発達障害等に関する専門的知識を持つ専門員が、就学相談に携わっています。この就学指導委員会は、幼児部会、小中部会、通級部会の3つの専門部会に分かれて活動していますが、今回は、幼児部会についてお伝えしたいと思います。

幼児部会では、市内の全ての就学予定児の保護者に案内を配付し、申込みのあった保護者との就学相談を実施しています。具体的には、担当専門員が相談を継続しながら、発達検査や行動観察、医師の診断書等をもとに、お子さんの状態を客観的に見取り、最もふさわしい就学先を判断するための調査書を作成します。また、保護者は希望があれば、専門員を通じて各学校・学級を見学したり、学校からの情報提供を受けたりすることもできます。これらの情報をもとに、保護者が最終的な就学先の意思決定をすることになります。

今年度は、9月現在で35件の相談申込みがあり、私自身も事務局の立場でいくつかのケースを担当させていただきました。その中で、次のような点において保護者の意識の高さを実感することが多くあります。

継続相談や、就学後の継続支援を希望される方が多くいらっしゃいます。

地元の学校への就学に対する強い希望がうかがえます。(特別支援学級新設の希望、環境面および介助員・指導補助員等人員面での整備への強い期待が感じられます。)

特別支援教育(個に応じた指導)へのより大きな期待が感じられます。

発達障害の認識が高まり、それに伴い様々な支援ニーズ(通常学級+通級指導、個別指導等)も高まっているように思います。

このような点からも、保護者との相談を大切にしていきたいと改めて感じているところです。お子さんの発達の状態等を知り、今後の見通しを話し合いながら、お子さんにとってよりよい学習環境を選択できるようなお手伝いができれば、と思います。

就学相談は、今後も随時受け付けております。ご不明な点は、柏崎市教育委員会学校教育課(21-2366)までお問い合わせください。

(文責 長谷川 裕美)

<ふれあいルーム>

宿泊体験

9月7日、8日に妙高少年自然の家で宿泊体験活動を行いました。通級生全員にぜひ体験させたい体験活動です。特にアドベンチャープログラムは子どもたちの成長には欠かせないものだと考えています。次のようなことを作文に書いています。

「人とからんだりするのが苦手なのでたいへんでした。(略)何回もくじけたり、いやになったりしたけれどもうまくできたので終わってみれば良い経験になり、良い思い出になりました。」

「何回も何回も失敗しました。でも、みんな協力してできて良かったです。」

「アドベンチャープログラムが終わった時みんなと仲良くなれた気がしました。」

「お楽しみ会のゲームでは、自分たちの考えたゲームが楽しんでもらえるか心配だったが、終わったあとに「楽しかった」と言ってもらえてうれしかった。」

「夜、みんなでわいわいしゃべって朝まで起きていて、普段あんまりしゃべらない人としゃべられて良かった。」
この宿泊体験で子どもたちは、一回り大きくなりました。

(文責 矢嶋信昭)

育成センター通信	0821	柏崎市青少年育成センター
		〒945-0833 柏崎市若葉町2番31号 TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610 ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

10月の予定

日	曜	こと	が	ら	日	曜	こと	が	ら
1	木	高校	下校	育成	5	月	高校	下校	育成
2	金	高校	下校	育成	10	土	小中P	一日	育成 (学番偶数校)
3	土	小中高P	一日	育成 (学番奇数校)	26	月	夜間	育成 (北条中P・南中P)	

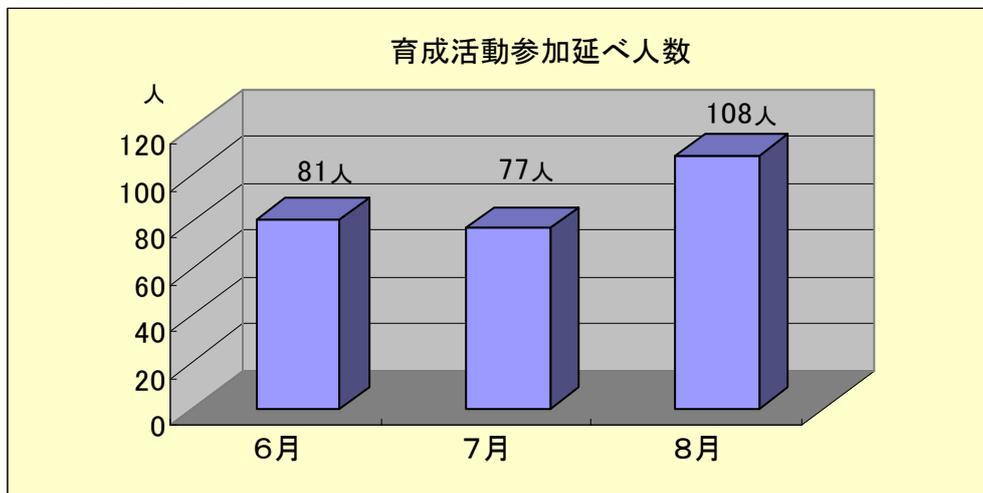
3か月間の育成活動結果！

～6月・7月・8月の育成活動参加延べ人数～

市青少年育成センターでは、6月に新青少年育成委員を迎えて新しい陣容でスタートしました。早いもので4か月目に入っています。半数以上が新委員に変わって心許ない立ち上がりでしたが、当センターの事業が順調に進んでいます。新旧委員の区別なくの熱心な取組により、青少年健全育成の成果が着実に上がっています。街頭育成活動、社会環境調査活動、研修活動、啓発活動などの育成活動を計画的に推進しています。下掲のように3か月間の育成活動の概況がまとまりました。6月81名、7月77名、8月108名、延べ266名の青少年育成委員がいろいろな育成活動に参加し、熱心な活動のあとがうかがえます。

また、街頭育成活動には、青少年育成委員の他に市内小中高校のPTA延べ306名が参加し、意欲的に取り組んでいただきました。

青少年の健全育成を目指して学校・地域・市青少年育成センターが手を取り合って一層、推進していく構えです。



秋空の下でのトライウォーク！

～高柳じょんのび街道コース～

シルバーウィークの第1日目である9月19日（土）に恒例のトライウォーク（市青少年健全育成市民会議等の主催）が行われました。このトライウォークは、回を重ねて今年度で19回目になります。かつては、柏崎海岸をコースにしていたのですが、昨年度からは越後柏崎七街道をコースとして設定することにしました。手始めに昨年度は市内鯖石地区をコースにし、今年度は「高柳じょんのび街道（高柳町地区）」をコースにしました。

参加者は、当日受付を入れて約250名余りで、秋空の下「高柳じょんのび街道」を歩いていい汗をかきました。単独参加をはじめ親子連れ・孫連れ・小学生の友だち同士・夫婦連れ・趣味の仲間同士・職場の仲間同士などのグループで参加していました。

「健脚コース」は17km、「ゆったりコース」は12kmで、どちらもアップダウンのあるかなりきついコースでした。途中、毎年10月に行われる「狐の夜祭り」で狐の行列の通る「狐の道」がコースの一部に入っていました。また、田園地帯では稲刈りをしているかたわらを抜けるところもあり、ひたすら平らな道路を通るところもありました。大会の名前のおり「トライ」（試してみる）、自分の頑張りを試してみる良い機会となりました。歩き通した参加者には、「完歩証」が交付されました。この「完歩証」は門出和紙できていて、「とても良い記念になった」という参加者の声がありました。歩き終わった後、「じょんのび村」の温泉で一日の疲れを癒す参加者もいました。

実施したトライウォークが無事、盛会裡に終了することができましたことは、ひとえに企画・運営に当たった市青少年健全育成市民会議のスタッフの皆さんや高柳町の関係各位、そして陰に陽に支えていただいた関係企業や関係諸団体に心より御礼申し上げます。



奇貨可居

情報教育主事 田村 実



「いまさら・・・」ですが柏崎市教育情報支援システムのそもそものわらいは何であったのかご存知でしょうか。平成 11 年度に「地域素材を中心に、総合的学習などで役立つような情報を容易に引き出し、先生や児童生徒が登録することでデータベースとして育てていけるような仕組み」を目指してスタートしたものです。もう 10 年も前の話であり、当時としては珍しい取組だったと言えるでしょう。

情報化の価値は、情報の蓄積・共有とそれらの効果的な利用にあると言えます。情報やノウハウ、そしてそれらを生み出す活動（＝仕事）はその時だけの一時的なものではなく、蓄積・共有して再利用することで初めて効率化が可能になるものであり、支援システムは学校という垣根を越えて、こうした情報の共有・再利用を支援することを目指したものです。

さて、構想から 10 年たった今、学校内そして学校間の情報共有と再利用は進んだのでしょうか。確実に進歩は感じられるのですが、まだまだというところでしょうか。残念ながら教職員一人一人の、積極的に情報やノウハウを公開・共有しよう（他の人に役立ててもらおう）という意識が不足しているようです。情報やノウハウは個人に蓄積されたままであったなら、いずれ流出してしまい資産となってはくれません。現在の様に時間的余裕のない学校現場であればこそ、「人づて」にたよるのではなく、意識してそれらを共有して資産となるように整理することが必要なのではないのでしょうか。

学校における業務は、その学校の中だけで閉じていてはもったいないと思いませんか。同じような作業をし、同じような悩みを抱えている人が、他の学校にもいるはずで、今やろうとしている仕事が 100 の作業量とするなら、共有を前提に取り組むと一時的には 120 の作業量になるかもしれません。しかし、次年度の仕事や類似の仕事が 80 になり、70 になり、60 になっていくのです。「とりあえず今忙しい」からと、その場限りの解決を繰り返している限り、業務の効率化は望めないのではないのでしょうか。永遠に「とりあえず今忙しい」ままです。

今年度は教員の公用 PC が整備され、校務を支援するソフトウェアも導入される予定です。しかし、何もしないでいたら、確かに個人の費用負担は減るかもしれませんが、自由に使えていた個人 PC が、ルールの厳しい公用 PC になるというだけで、皆さんの仕事は減るところが増えることになるでしょう。時間がかかることとは思いますが、教職員一人一人が自分の持つ情報やノウハウを積極的に公開・共有する努力をし、役職や分掌などで構成されているグループにおいては今までのやり方を捨ててしまうぐらいの気持ちで効率化や改善を検討する、ということをしてみませんか。大きな変革への絶好の機会です。



最近のあれこれ

教育センター 庶務

赤澤 美保

最近テレビやまわりでよく聞く言葉、「シルバーウィーク」。このセンター誌が発行される頃にはもう過去のことになると思うが、この9月にある5連休のことだ。どこかに行こうか？何して過ごそうか？と今考えているが特にこれといって思いつかない。せっかくの5連休なのにもったいない！と思いつつも出不精なのでたぶん普段通り過ごすことだろう。お手軽な日帰り旅行から帰省、さらには海外旅行など、5日も休みがあればいろんな形で利用できる。きっと旅行に行く人も多いだろう。私も来年こそは！と思ったが、この秋の5連休、暦の上で今度実現するのは6年後の2015年だそう。これから毎年あると超勝手に思い込んでしまった早とちりはきっと私だけだろう。

最近稲刈りが一段落したようだ。今年は冷夏で夏らしい夏でなかったが、この風景を見ると秋をしみじみと感じる。もうスーパーなどでは新米が売り出されているだろうが、実家でお米を作っているのがありがたいことに毎年おいしいお米をいただいている。父ももうすぐ70歳、去年大きな怪我をしてもまた米づくりを頑張っている。米作りは春から秋まで続く大変な作業だけどこれが父の生きがいなのだろう。いつもたいして手伝いもせずに申し訳ないが本当に感謝だ。

最近記憶力に自信がない。根っからの文系で暗記は得意だったはず、なんだかショックである。ケータイの脳トレをやってみたところ脳年齢は20歳！（怪しい…誰がやってもそうなるのでは？）にもかかわらず自分の携帯番号ぐらいなぜすぐ覚えられないのか？長年愛用していた番号を変えたせいもあるが、覚えているようで覚えていない。とっさに答えられずにいつも慌ててしまう。読めても書けない漢字も増えた。ケータイやパソコンを使えばお手軽簡単にすぐ調べられるから覚える気が足りないのか。考えてみると手書きで文字を書く機会もあまりない。もっと頭をフル活用しないと今後どうなることやら…と思うが便利なものに一度慣れてしまうとなかなか難しい。

最近、といってももう2ヶ月も前のことになるが、初めて日食を見ることができた。テレビではすばらしい皆既日食の映像が映し出されていたが、皆既日食でなくても自分の目でみた部分日食はとても神秘的だった。まるで月のように欠けていく太陽の様子。直前まで空は曇り、これはちょっと無理かなと思っていたのでその分感動も大きかった。この感動を味わうことができたのも理科の研究员さんのおかげだ。26年後の2035年、今度は北陸地方で皆既日食が見られるそう。もちろん天気がよければの話だが体験できたらどんなにすばらしいか。今から楽しみである。

最近、日が暮れるのがめっきり早くなった。夕方6時を過ぎればとたんに暗くなっていく。秋は始まったばかりだがまたすぐ冬が来て雪が降る…今年はどうな冬だろうか。まだ冬のことを考えるにはちょっと気が早いけど、今年は何んといっても新型インフルエンザが気がかりだ。これから流行のピークを迎えるとのこと。それでなくても季節の変わり目は体調を崩しやすいので用心して冬を迎えたい。

日	曜	研修・行事・会議	内部事務・日程等	出張・関係事業等
1	木	科・科学研究発表会 13:00		
2	金		広報11/5号〆切	出・適応指導教室合同研修会（県セン：小林・ふれあい）13:00 学校訪問（比角小）10:20
3	土			トキめぎ国体（ビッグスワフ：所長）～6日
4	日			
5	月	相・相談班会議 13:00		
6	火	ふ・三者面談		科・剣野小学校科学クラブ要請（植木） 学校訪問（比角小学校）8:10
7	水	ふ・三者面談	所内会議 13:00	
8	木	ふ・通級終了日		要対協進渉部会（元気館：小林）14:00
9	金	相・いろいろ体験グループ（小A/C）16:00/16:30		
10	土			全国障害者スポーツ大会（ビッグスワフ：所長）～12日
11	日			
12	月	体育の日		
13	火	科・初任者研修講座		
14	水	ふ・学校訪問（第二中・鏡が沖中）		就学相談 13:00 翔洋中等教育学校講演（小林）13:00 学校訪問（比角小学校）8:10 ＊学校研音楽主任会（多目的研）15:00
15	木	研・講座「国語教科指導法2」15:00 ふ・学校訪問（第三中・東中）		出・新潟市スクールカウンセラー連絡協議会（新潟市教委：小林）14:00 学校訪問（比角小）11:20 荒浜小地層観察要請（植木）
16	金	ふ・学校訪問（南鯖石小） 相・いろいろ体験グループ（小B）16:30	合同消防訓練 13:00	比角小学校計画訪問（矢沢）PM 出・附属長岡中研究会（植木）
17	土			
18	日			
19	月	ふ・後期通級開始日 相・相談班会議 13:00		日吉小学校計画訪問（矢沢）PM 出・上越地区セン野外研修会③（植木）
20	火	情・「大型プリンタによる長尺印刷入門」15:00 ふ・学校訪問（田尻小）	広報11/20号〆切	*事務研第4回合同会議（多目的研）14:00
21	水	研・講座「生徒指導事例検討Ⅰ」15:00 情・「基礎から学ぶICT活用③」15:00		
22	木	科・小4「もののかさと温度」15:00 ふ・学校訪問（新道小）		育・関東甲信越静地区青少年補導センター連絡協議会研修大会（新潟市：育成・小林）学校訪問（比角小学校）11:20
23	金	研・講座「教科等における道徳教育」15:00 ふ・学校訪問（柏崎小） 相・いろいろ体験グループ（中①）18:30		育・関東甲信越静地区青少年補導センター連絡協議会研修大会（新潟市：育成） 出・上教大附属中研究会（植木）
24	土			
25	日			
26	月	相・相談班会議 13:00		体育指導員研修（市プラ：小林）19:00 東中学校計画訪問（矢沢）PM 出・いきわく科学賞1次審査（植木）
27	火	研・食育授業講座Ⅰ（学教：多目的研）15:00 ふ・陶芸教室①		セキュリティ委員会（矢沢）15:00 出・いきわく科学賞1次審査（植木） 就学指導通級部会（教育相談室）15:00
28	水			就学指導小中部会（教育相談室）15:30 出・いきわく科学賞1次審査（植木） 上越地区セン総会3（植木） ＊市教頭会（多目的・第一研）14:30
29	木			榎原小学校計画訪問（矢沢）PM 学校訪問（比角小学校）11:20
30	金	相・いろいろ体験グループ（中②）18:30	紙資源物回収 15:00	高柳中学校計画訪問（矢沢）PM 荒浜小 天体観察（植木） 就学指導小中部会（教育相談室）15:30
31	土			

研・教育研究班 科・科学技術教育班 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修
 育・育成センター 出・出張 *・施設貸出 【 】は未確定の行事・時間

H21年度 教育センター事業の参加・利用状況

研修講座・事業名		5月の 利用数	6月の 利用数	7月の 利用数	8月の 利用数	H21年度 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座 *	3回	6回	8回	12回	30回	
		105人	140人	226人	320人	797人	
	共催研修、研修講座	1回	0回	0回	0回	2回	
		49人	0人	0人	0人	94人	
	学校の要請研修会	0回	0回	0回	0回	0回	
		0人	0人	0人	0人	0人	
	調査研究会,教科研修員会	1回	3回	0回	0回	4回	
		25人	3人	0人	0人	28人	
教育情報化研修講座 *	5回	2回	8回	11回	26回		
	56人	14人	49人	137人	256人		
情報教育主事の要請支援等	20回	23回	20回	7回	88回		
	43人	220人	211人	19人	660人		
その他の相談・利用・参加数	0回	1回	0回	1回	2回		
	0人	1人	0人	2人	3人		
教科書センター利用閲覧数	1人	4人	0人	5人	13人		
教育 研究 班・ 科学 技術 教育	理科研修講座 *	3回	2回	2回	12回	21回	
		32人	27人	27人	101人	277人	
	学校等の要請研修	1回	1回	4回	1回	9回	
		9人	80人	543人	19人	654人	
	地域の自然研修・観察会	3回	2回	1回	1回	8回	
		118人	24人	69人	101人	335人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)	0人	2,500人	0人	1,210人	5,952人	
理科教育の相談・支援	52件	58件	65件	65件	278件		
理科教材・物品の貸出	3件	4件	68件	33件	592件		
(教職員研修の合計)	54人	118人	80人	178人	624人		
教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数	22件	9件	31件	20件	142件
		のべ相談件数	56件	49件	63件	47件	292件
	学校訪問相談	14回	11回	19回	9回	58回	
	家庭訪問相談	訪問対象者数	2人	2人	2人	1人	9人
		訪問のべ回数	7回	8回	6回	2回	30回
	電話相談	2件	1件	3件	1件	11件	
	ソーシャルスキルトレーニング	5回	4回	6回	4回	19回	
		29人	21人	33人	22人	105人	
	ふれあいルーム在籍人数	小学生	5人	5人	5人	6人	24人
		中学生	8人	8人	8人	8人	40人
	ふれあいルーム通級日数	18日	22日	15日	3日	75日	
ふれあいルーム通級のべ人数	小学生	18人	25人	36人	6人	100人	
	中学生	66人	90人	71人	14人	290人	
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)	3人	0人	0人	0人	7人		
教育団体, P T A, 市民等の利用		229人	415人	341人	299人	1,470人	
教育センター事業の参加・利用総数		936	3,704	1,861	2,432	12,437	

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにもガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造と検証の精神が必要であるという趣旨から情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターと青少年育成センターの情報とともに、柏崎の教育を広く発信していきます。

所報「GALILEI」 平成 21 年9月末日発行
表紙写真撮影 中山 博迪



柏崎市立教育センター

TEL 0257-23-4591
FAX 0257-23-4610

E-mail k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

柏崎市青少年育成センター

TEL 0257-20-7601
FAX 0257-23-4610

E-mail ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

〒945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2 31